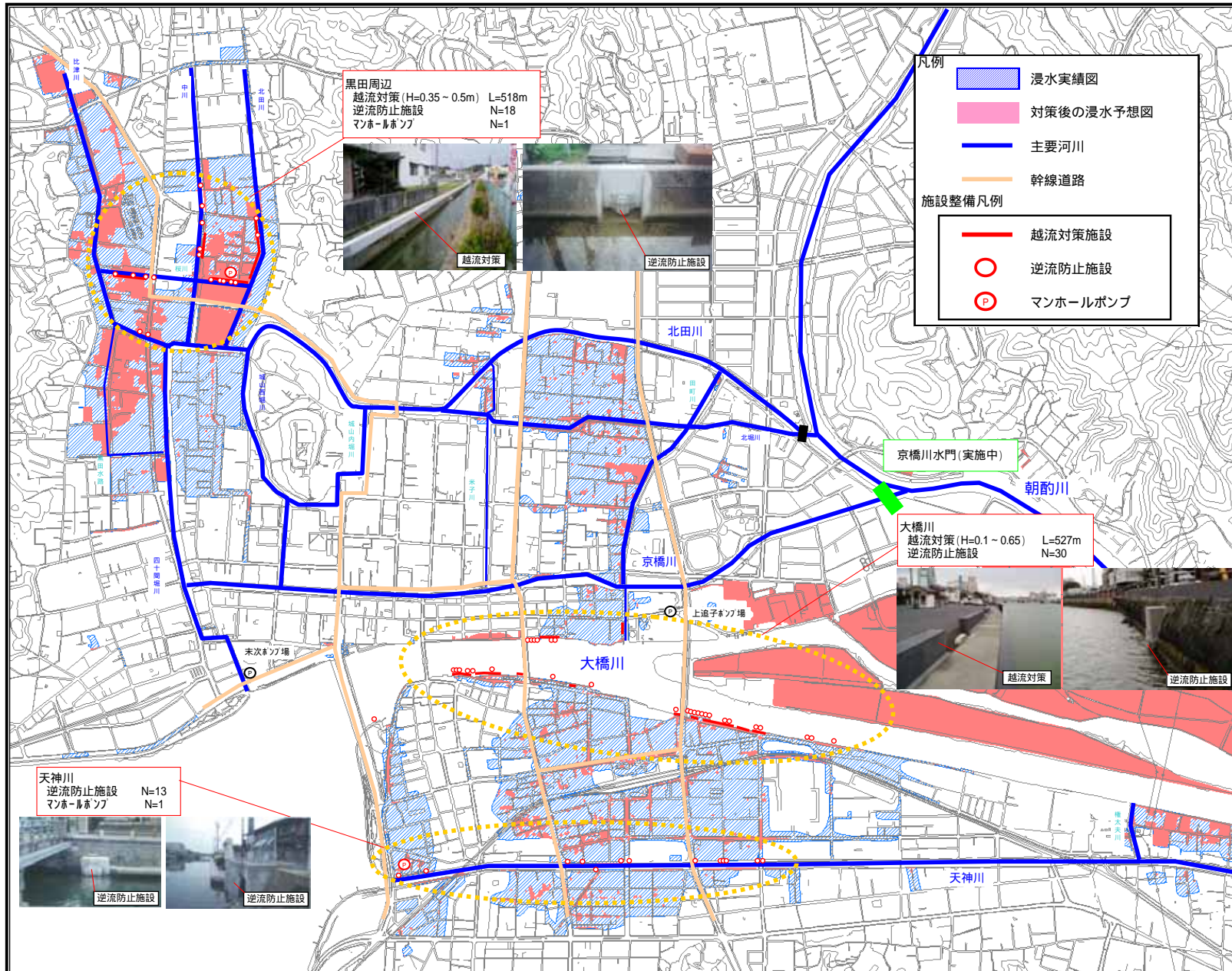


松江市街地浸水にかかる当面の対応策 (実施状況)

松江市街地浸水対策 施設整備概要図



松江市街地浸水対策 施設整備一覧

ブロック	河川名	項目	具体的な対策	規格	数量	施工者	備考	工事費 (千円)
橋北・橋南	大橋川	逆流防止施設	フラップゲート等	=0.25 ~ 1.2	15箇所	国	(内;角落し13箇所)	10,000
		逆流防止施設	フラップゲート等	=0.25 ~ 0.9	15箇所	市	(内;角落し1箇所)	12,800
		越流対策	ハット等	H=0.1 ~ 0.65	527m	市		17,300
橋南	天神川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3 ~ 1.0, W=2.3	9箇所	県		17,800
		逆流防止施設	フラップゲート	=0.3 ~ 1.0, W=0.8	4箇所	市	(内;角落し1箇所)	9,800
		内水排除	マンホールポンプ	Q=1.00m ³ /min	1箇所	市		6,900
黒田西原地区	中川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3, 0.6	5箇所	県		5,100
		越流対策	暫定築堤	H 0.5	79m	県		1,500
	北田川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3	2箇所	県		1,800
		越流対策	堤防嵩上げ	H 0.5	217m	県		1,400
	桜川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3	5箇所	市		19,000
		越流対策	堤防嵩上げ	H 0.5	127m	市		
内水排除	マンホールポンプ	Q=2.25m ³ /min	1箇所	市		9,000		
黒田地区	桜川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3 ~ 0.6	4箇所	市		6,000
		越流対策	堤防嵩上げ	H 0.35	95m	市		
	比津川	逆流防止施設	フラップゲート	=0.3	2箇所	県		1,800
計								120,200
橋北	京橋川	逆流防止施設	水門	-	1箇所	県		

実施済み

実施中

大橋川【逆流防止施設】『実施済み』



: 国交省実施箇所(15箇所)
 : 松江市実施箇所(15箇所)

番号	千口標	W(m)	敷高(H.P)	天端高	摘要
91	6 k 792	0.40	0.46	1.26	国交省対応(H19)
92	6 k 800	0.30	0.58	0.88	国交省対応(H19)
93	6 k 823	0.30	0.60	0.90	国交省対応(H19)
94	6 k 838	0.25	0.65	0.90	国交省対応(H19)
95	6 k 862	0.40	0.84	1.24	国交省対応(H19)
96	6 k 870	0.40	0.88	1.28	国交省対応(H19)
173	5 k 792	0.90	-0.13	0.77	松江市対応(H19)
174	5 k 880	0.30	0.82	1.12	松江市対応(H19)
175	5 k 892	0.40	0.38	0.78	松江市対応(H19)
176	6 k 052	0.30	0.62	0.92	松江市対応(H19)
177	6 k 060	0.40	0.23	0.63	松江市対応(H19)
178	6 k 146	0.70	0.03	0.73	国交省対応(H18)
179	6 k 224	0.40	0.27	0.67	国交省対応(H19)
179-1	6 k 260	0.25	0.33	0.58	松江市対応(H19)
179-2	6 k 270	0.40	0.31	0.71	松江市対応(H19)
179-3	6 k 280	0.60	0.30	0.90	松江市対応(H19)
179-4	6 k 290	0.45	0.15	0.60	松江市対応(H19)
179-5	6 k 300	0.33	0.45	0.78	松江市対応(H19)
179-6	6 k 310	0.30	0.80	1.10	松江市対応(H19)
180	6 k 320	0.40	0.10	0.50	松江市対応(H19)
181	6 k 380	1.00	-0.05	0.95	国交省対応(H18)
183	6 k 672	1.00	-0.25	1.15	国交省対応(H18)
184	6 k 775	0.70	-0.15	0.55	国交省対応(H18)
187	7 k 012	0.70	-0.16	0.54	国交省対応(H18)
188	7 k 089	0.50	0.25	0.75	国交省対応(H18)
189	7 k 130	0.30	0.11	0.41	松江市対応(H19)
190	7 k 132	0.80	0.27	0.97	国交省対応(H18)
191	7 k 138	0.40	0.70	1.10	松江市対応(H19)
193	7 k 148	0.30	1.17	1.47	松江市対応(H19)
191		1.20			国交省対応(H19)

大橋川【越流対策】 『実施済み』



—— 嵩上げコンクリート(松江市) H=0.1 ~ 0.65 L=527.3m

- 凡例
- 浸水実績図
 - 対策後の浸水予想図
 - 幹線道路

天神川【逆流防止施設】 『実施済み』



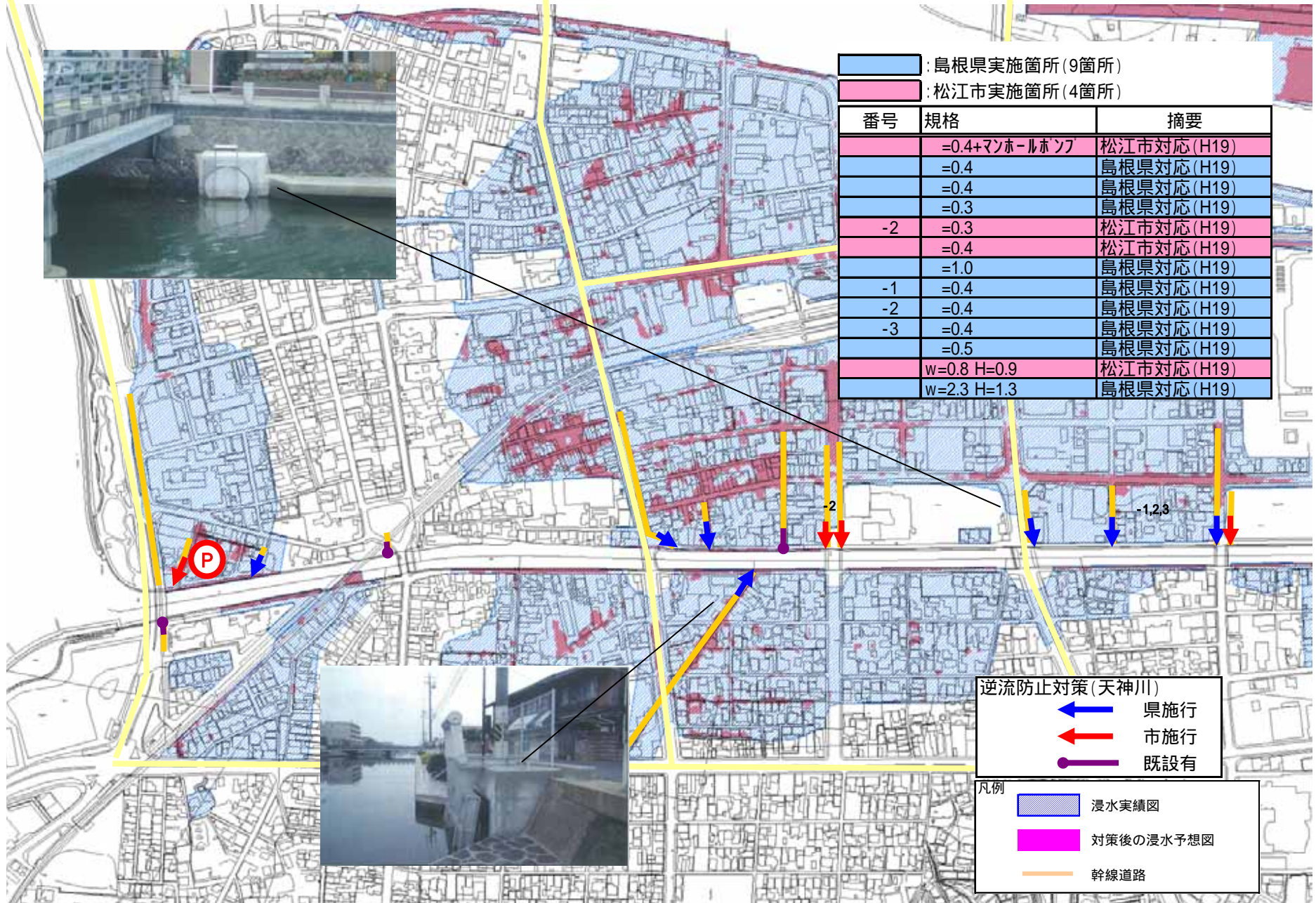
番号	規格	摘要
	=0.4+マンホールホップ	松江市対応(H19)
	=0.4	島根県対応(H19)
	=0.4	島根県対応(H19)
	=0.3	島根県対応(H19)
-2	=0.3	松江市対応(H19)
	=0.4	松江市対応(H19)
	=1.0	島根県対応(H19)
-1	=0.4	島根県対応(H19)
-2	=0.4	島根県対応(H19)
-3	=0.4	島根県対応(H19)
	=0.5	島根県対応(H19)
	w=0.8 H=0.9	松江市対応(H19)
	w=2.3 H=1.3	島根県対応(H19)

逆流防止対策(天神川)

- 県施行
- 市施行
- 既設有

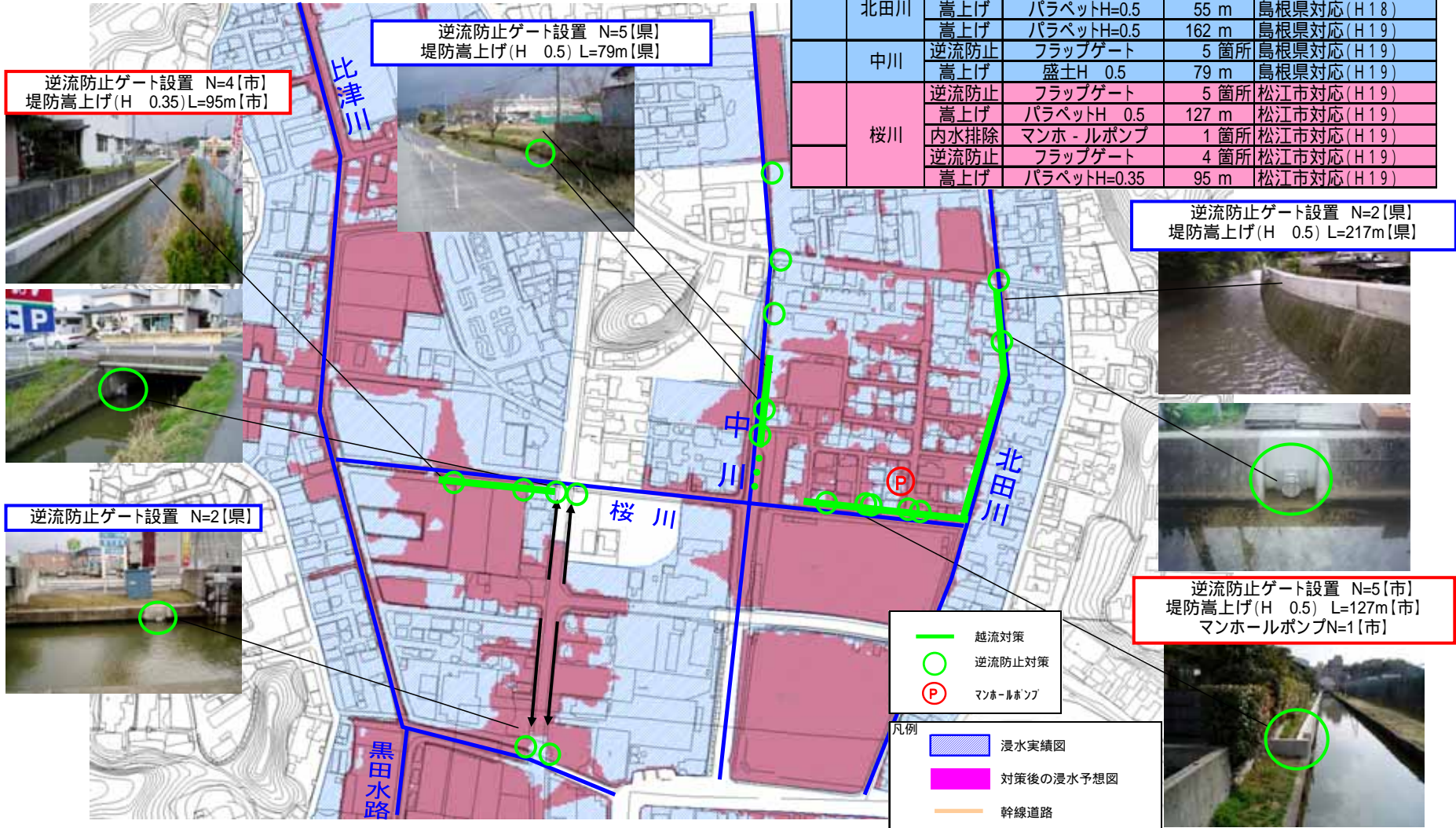
凡例

- 浸水実績図
- 対策後の浸水予想図
- 幹線道路



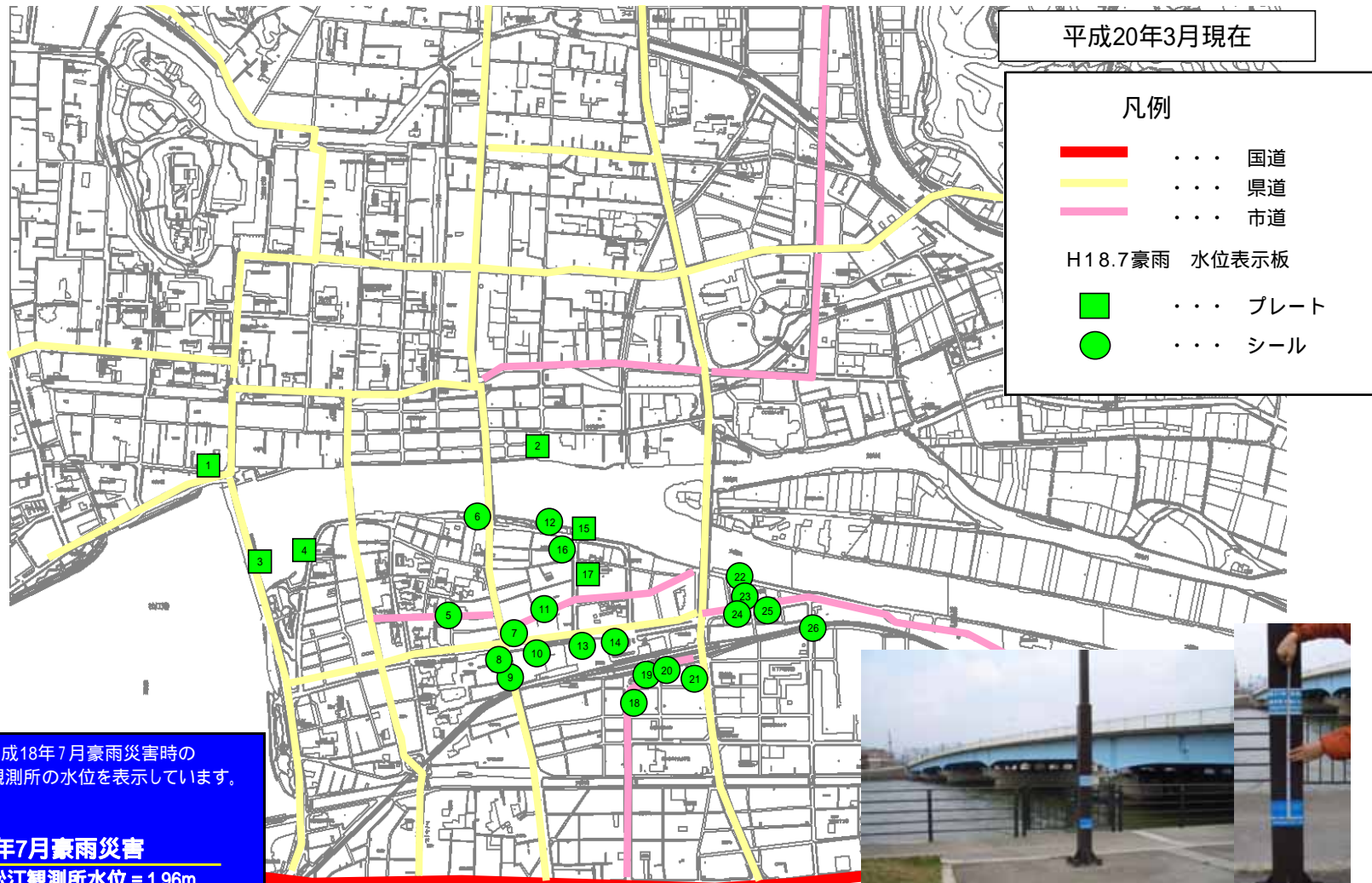
橋北【黒田西原・黒田地区】 『実施済み』

図番	河川名	実施内容	工種	数量	摘要
	比津川	逆流防止	フラップゲート	2箇所	島根県対応(H19)
	北田川	逆流防止	フラップゲート	2箇所	島根県対応(H19)
		嵩上げ	パラペットH=0.5	55 m	島根県対応(H18)
		嵩上げ	パラペットH=0.5	162 m	島根県対応(H19)
	中川	逆流防止	フラップゲート	5箇所	島根県対応(H19)
		嵩上げ	盛土H 0.5	79 m	島根県対応(H19)
	桜川	逆流防止	フラップゲート	5箇所	松江市対応(H19)
		嵩上げ	パラペットH 0.5	127 m	松江市対応(H19)
		内水排除	マンホ-ルポンプ	1箇所	松江市対応(H19)
		逆流防止	フラップゲート	4箇所	松江市対応(H19)
		嵩上げ	パラペットH=0.35	95 m	松江市対応(H19)



水位表示板 「実施済み」

・市内26箇所にH18.7豪雨災害水位表示板を設置 (H20.2.28 ~ 29)



松江市防災訓練【H19.6.10】:松江市防災会議主催 『実施済み』

- ・「平成18年7月豪雨」を教訓として、「水防」をテーマとして実施



市民参加による土のう作成



H18.7越流箇所での土のう設置訓練

・松江市の水防活動は、次の計画で実施する。

- 1 大橋川左岸
 - ・角落し(6箇所)
 - ・土のう積み(総延長58.3m)
- 2 大橋川右岸
 - ・角落し(8箇所)
 - ・土のう積み(総延長129.3m)
- 3 天神川
 - ・角落し(1箇所)
- 4 天神川、権太夫川
 - ・仮締切り(2箇所)

「角落し」作業は、大橋川水位の状況を確認しながら、松江市が作業を実施する。

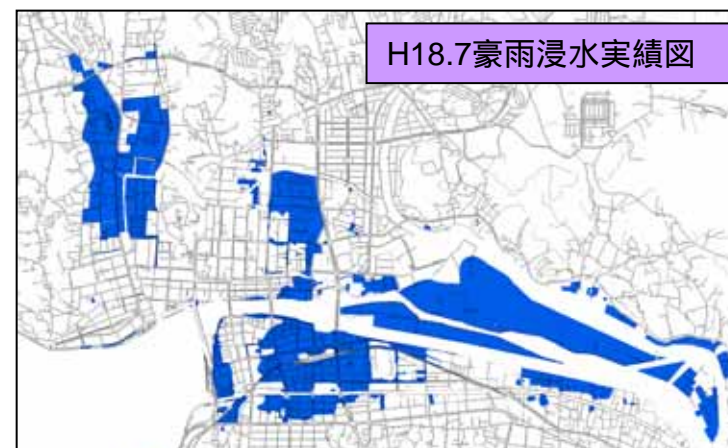
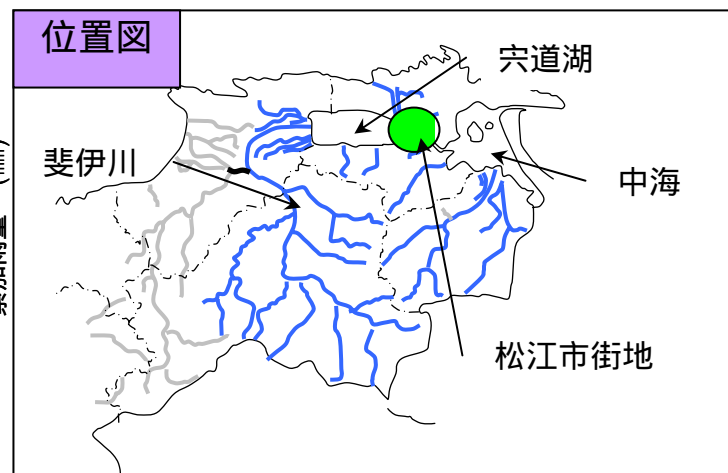
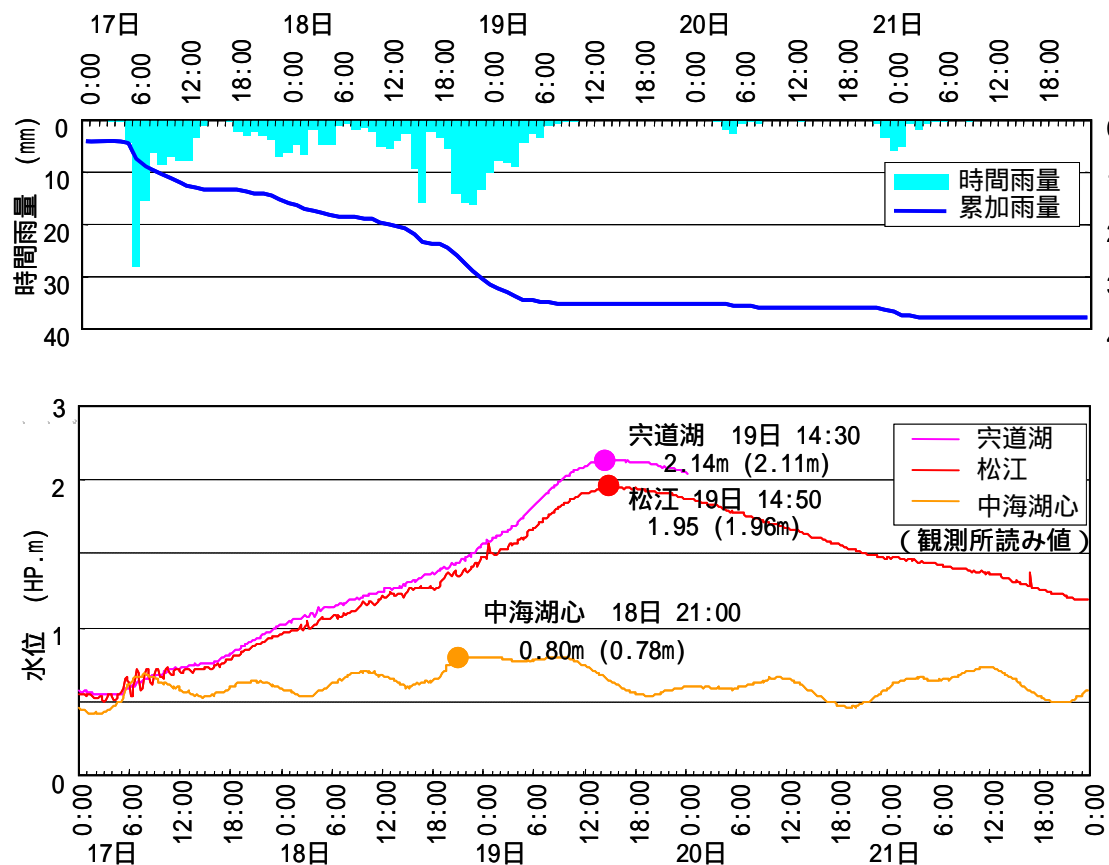
「土のう積み」作業は、松江市水防隊(松江市消防団)及び松江市職員で実施する。土のう作成については、市内の指定場所(大草町地内・東朝日町地内・下東川津町地内の3箇所)において、松江市と災害時応援協定を締結している各建設業協会等と連携し、速やかに作成を行なう。

< 参考資料 >

H 1 8 . 7 豪雨水害状況

松江市街地の出水状況

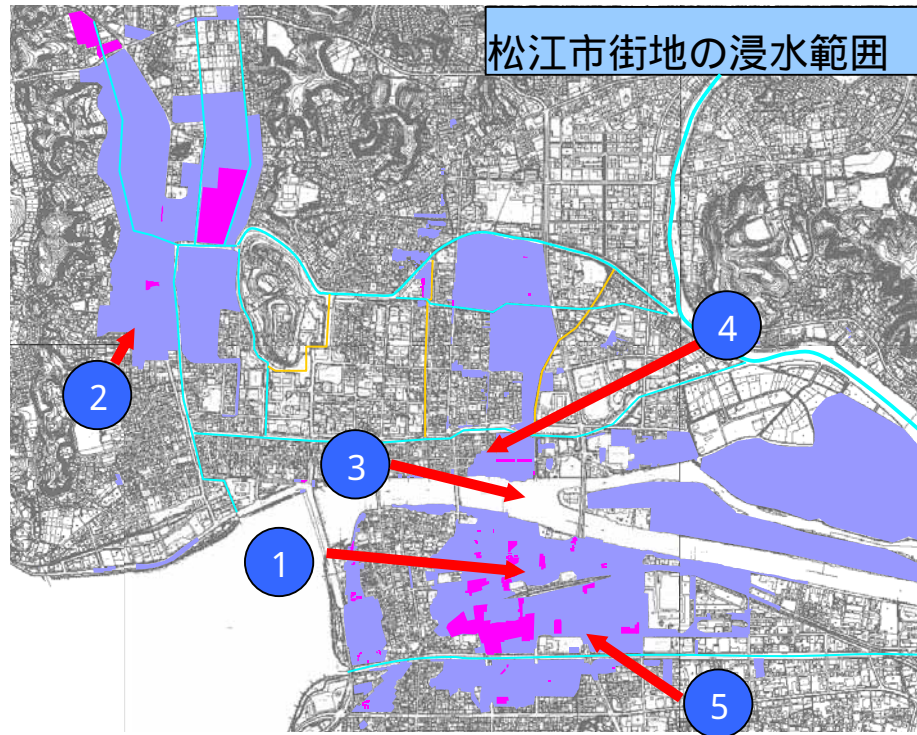
斐伊川では、7月15日23:00から22日17:00までに総雨量378mm(斐伊川流域平均)を記録。斐伊川下流部に位置する宍道湖では、斐伊川上流部や松江市内周辺で降った雨の影響で、松江水位観測所(国)で最高1.96m(計画高水位2.50m)まで水位が上昇。宍道湖水位の上昇や松江市街地を流れる河川の氾濫により、松江市街地では広範囲に渡り、長時間が浸水した。



H18.7豪雨の浸水実績図の詳細は以下のホームページでご覧頂けます。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/shinsuikuiki/1807matue.html>

松江市街地の出水状況



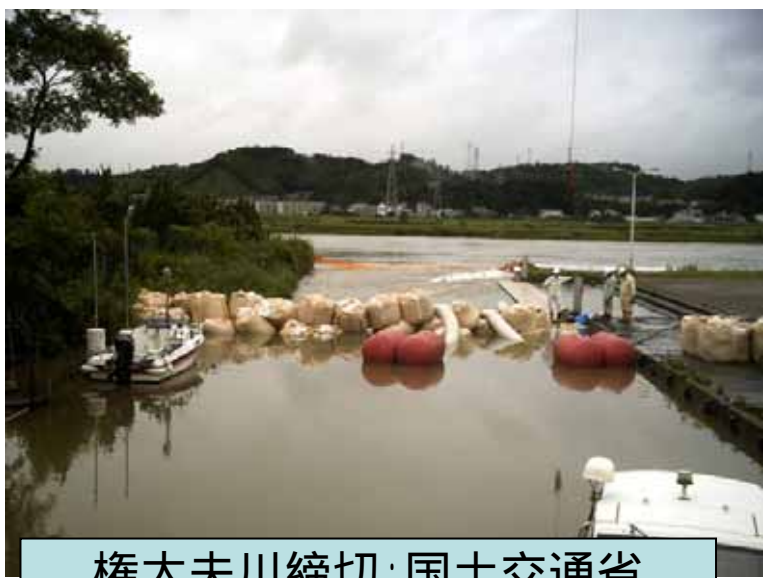
松江市街地での水防活動



排水ポンプ車稼働(末次):国土交通省



排水ポンプ車稼働(末次):国土交通省

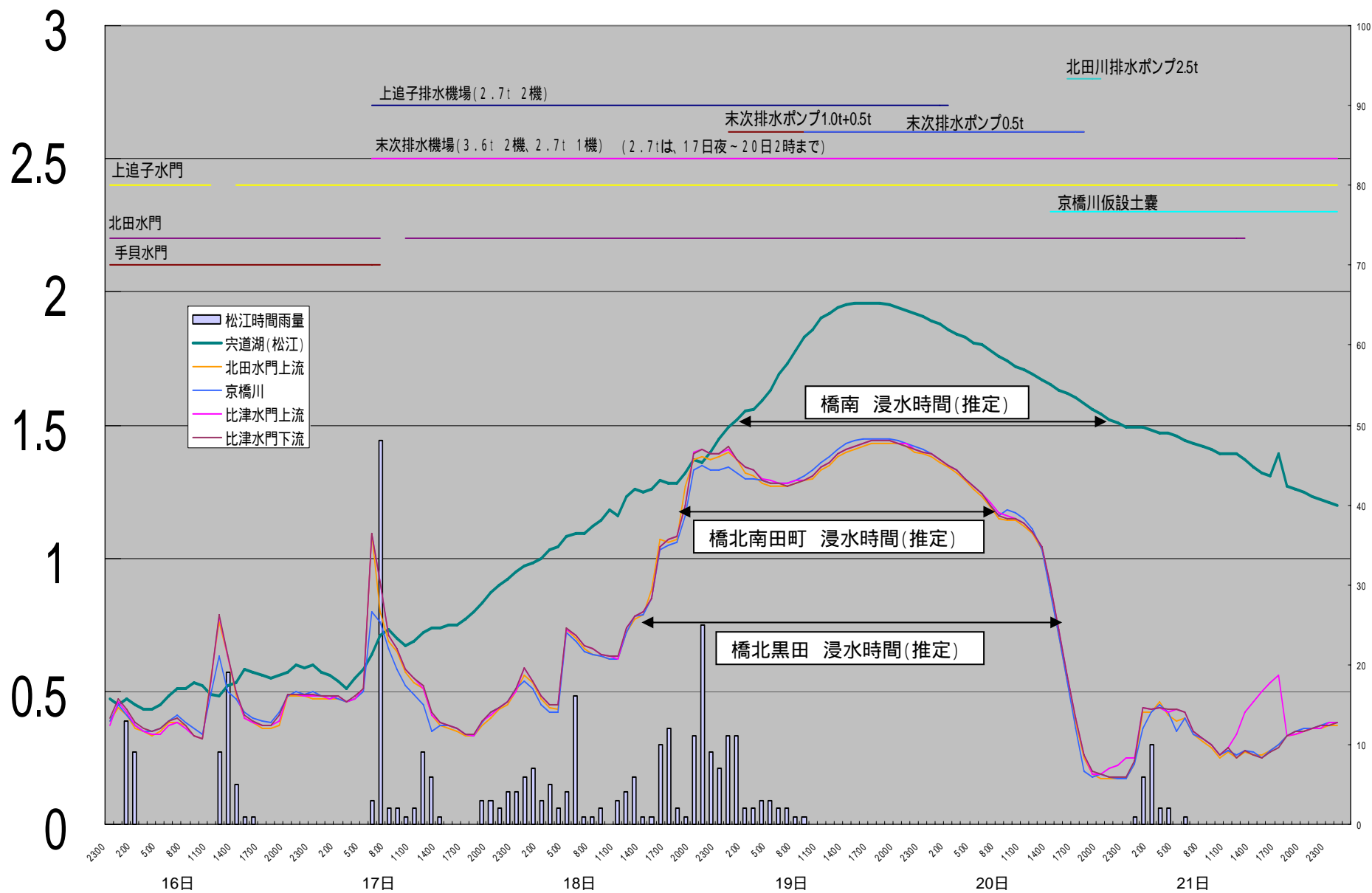


権太夫川締切:国土交通省



京橋川締切:松江市

松江市街地 水位変動 (HP換算)



< 参考資料 >

松江市街地浸水にかかる当面の対応策
(H18.11.28記者発表内容)

松江市街地浸水にかかる当面の対応策【H18.11.28記者発表】

平成18年7月豪雨洪水から床上浸水と
幹線道路の通行止めを防ぐためには

- **目的**

平成18年7月洪水により、松江市街地が広範囲にわたり長時間浸水し、また、幹線道路の通行止めにより大渋滞が発生した。

抜本的な浸水対策としては、斐伊川治水3点セットの早期完成が必要であり、国県市一体となり大橋川改修の早期事業化に努める必要がある。この間、同様の洪水が発生した場合でも床上浸水や幹線道路の通行止めの防止を目的とする「松江市街地浸水にかかる当面の対応策」を国、県、松江市調整の上で策定し、この間の再度被害の軽減を図る。

- **対応方針**

平成18年7月洪水に対して、床上浸水と幹線道路の通行止めを防ぐためには、当面の施工が可能な施設整備と水防活動とが一体となって市街地部の浸水を軽減させる必要がある。なお、これらの対応策は、水防管理団体である松江市と河川管理者の国土交通省、島根県が連携して行う。また、施設整備については今後2～3年間で整備することを目指す。

【対策後の想定浸水水位 橋北:HP + 1.3m(地区限定 + 1.0m)、橋南:HP + 1.5m】

松江市街地浸水にかかる当面の対応策【H18.11.28記者発表】

• 対応策

(橋北)

施設整備

朝酌川からの逆流を防止するため、京橋川河口部に水門を設置する。

洪水が水路を通じて逆流する箇所には逆流防止施設を設置する。

黒田西原地区などでは、越流による洪水の侵入を防ぐため中川や桜川などの堤防を嵩上げするとともに、内水排除のための小型ポンプを整備する。

出水時対応

洪水が大橋川を越える箇所については水防活動として土のう積みなど越流防止対策を実施する。

末次、上追子の排水機場により内水を排除する。なお、必要に応じて排水ポンプ車の支援を要請する。

小型ポンプを稼働し内水を排除する。

(橋南)

施設整備

洪水が水路を通じて逆流する箇所には逆流防止施設を設置する。

出水時対応

洪水が大橋川や天神川を越える箇所については水防活動として土のう積みなど越流防止対策を実施する。

天神川呑口部や権太夫川河口部を応急的に仮締切りすることにより、宍道湖や大橋川の洪水が市街地へ侵入することを防ぐ。

小型ポンプを稼働し内水を排除する。

• 効果

この対策により、この度の7月豪雨程度の降雨に対しては以下の効果が期待できる。

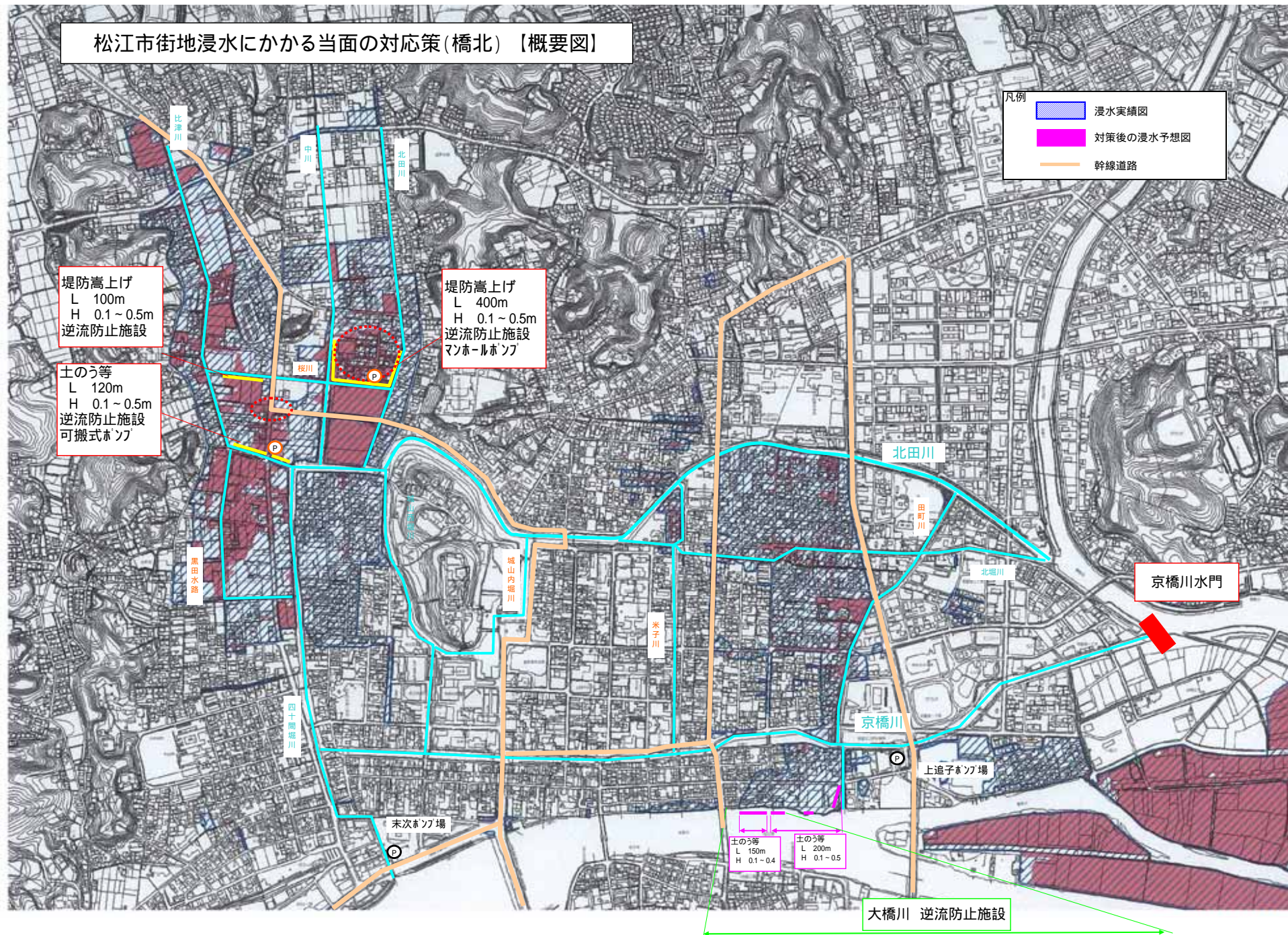
・市街地部浸水面積 約190ha 約40ha

・床下浸水戸数 約1,000戸 約400戸

• 施設整備に掛かる事業費

約8.5億円（土のう等水防活動にかかる費用を除く）

松江市街地浸水にかかる当面の対応策(橋北)【概要図】



松江市街地浸水にかかる当面の対応策(橋南)【概要図】

